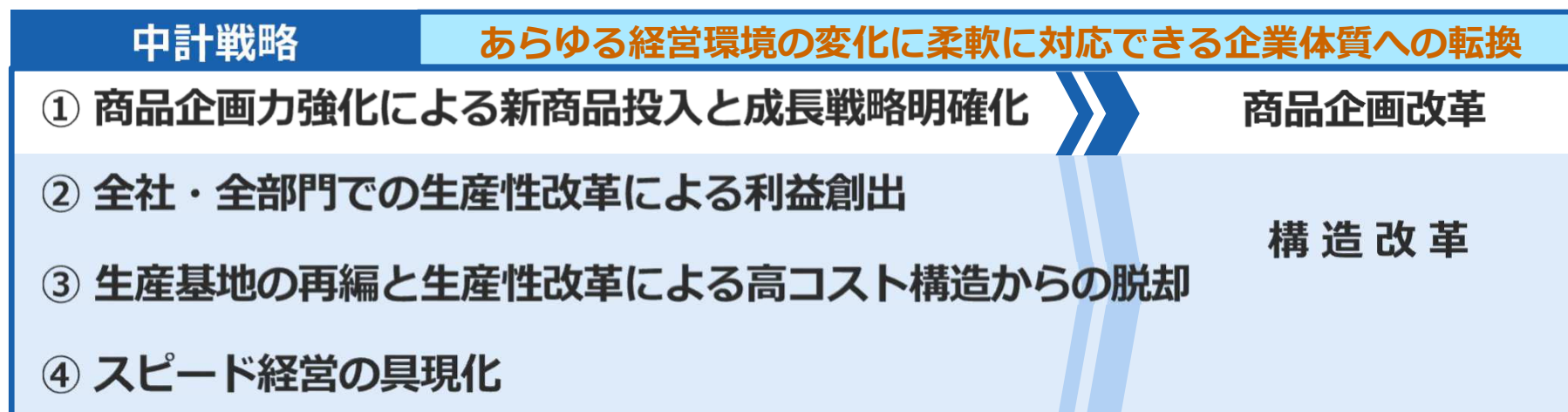


# 2023年3月期第2四半期 決算説明資料

2022年11月  
日本ケミコン株式会社

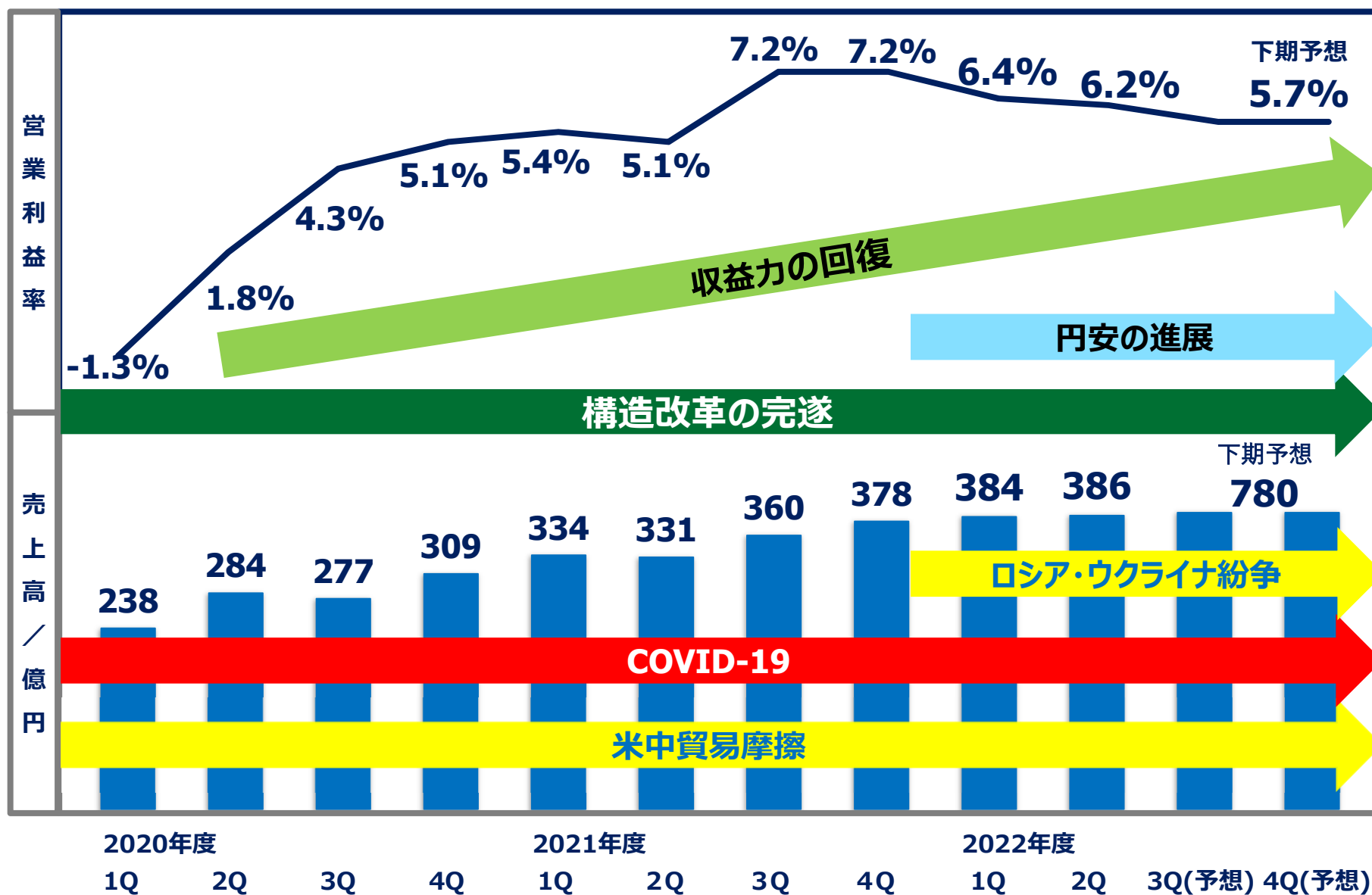
# 1. 第9次中期経営計画の進捗（2020～2021年度実績、2022年度予想）



## ▶ 資産効率向上・固定費削減による財務体質の改善

	2020年度実績	2021年度実績	2022年度予想	第9次中計 2022年度目標
売上高	1,107億円	1,403億円	1,550億円	1,400億円
営業利益	29億円	87億円	93億円	100億円
純利益	20億円	▲121億円	30億円	60億円
ROE	4.5%	▲25.3%	6.5%	10%以上
総資産回転率	0.8回転	0.9回転	1.0回転	1.0回転以上

## 2. 売上高と営業利益率推移（2020～2021年度実績、2022年度予想）



### 3. 2022年度 上期実績 および 通期 業績見通し

## 構造改革を完遂し、通期公表値の達成を目指す

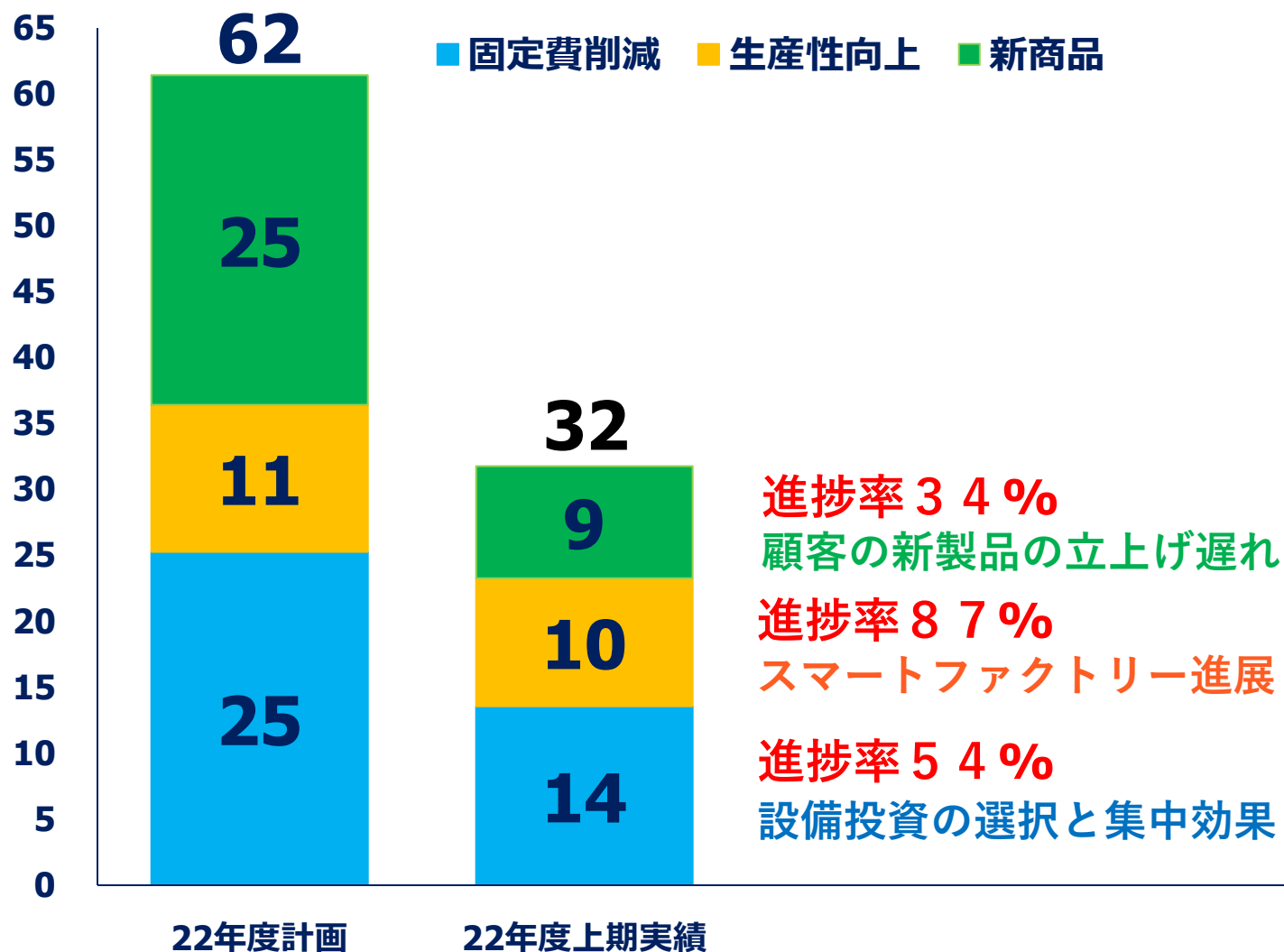
(単位：百万円)

	2021年度		2022年度		前年比	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期予想	増減	増減率
売上高	66,502	140,316	77,041	155,000	+14,684	+10.5%
営業利益	3,492	8,798	4,853	9,300	+501	+5.7%
売上高比率	5.3%	6.3%	6.3%	6.0%		
経常利益	3,324	8,038	4,803	8,800	+761	+9.5%
売上高比率	5.0%	5.7%	6.2%	5.7%		
親会社株主に帰属する当期利益	2,497	-12,124	-514	3,000	+15,124	-
売上高比率	3.8%	-8.6	-0.7%	1.9%		
設備投資	2,817	5,858	3,611	8,500	+2,641	+45.1%
減価償却費	2,868	5,885	2,933	6,000	+114	+1.9%
研究開発費	1,992	4,156	2,165	4,500	+343	+8.3%
平均為替レート US\$ (円)	109.80	112.38	133.97	134.49	19.7%円安	
Euro (円)	130.90	130.56	138.73	138.37	6.0%円安	

## 4. 構造改革による業績改善効果（2022年度上期実績）

効果額：億円

22年度上期進捗率は、計画比52%。

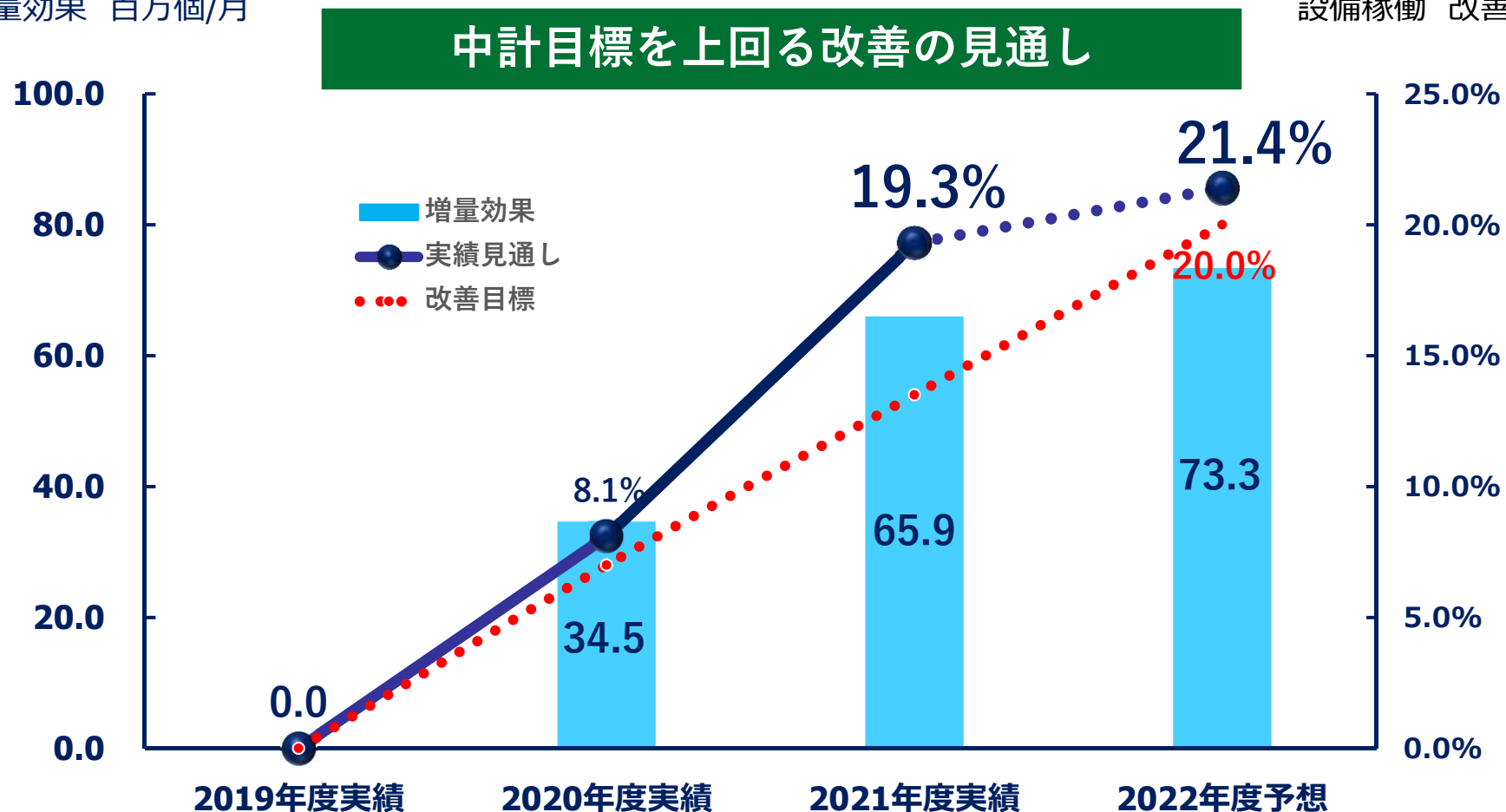


#### 4. 構造改革による業績改善効果（2020～2021年度実績、2022年度予想）

OEE※1TEEP※2 & パーヘッド向上による増員・増備なき増量対応

増量効果 百万個/月

設備稼働 改善率

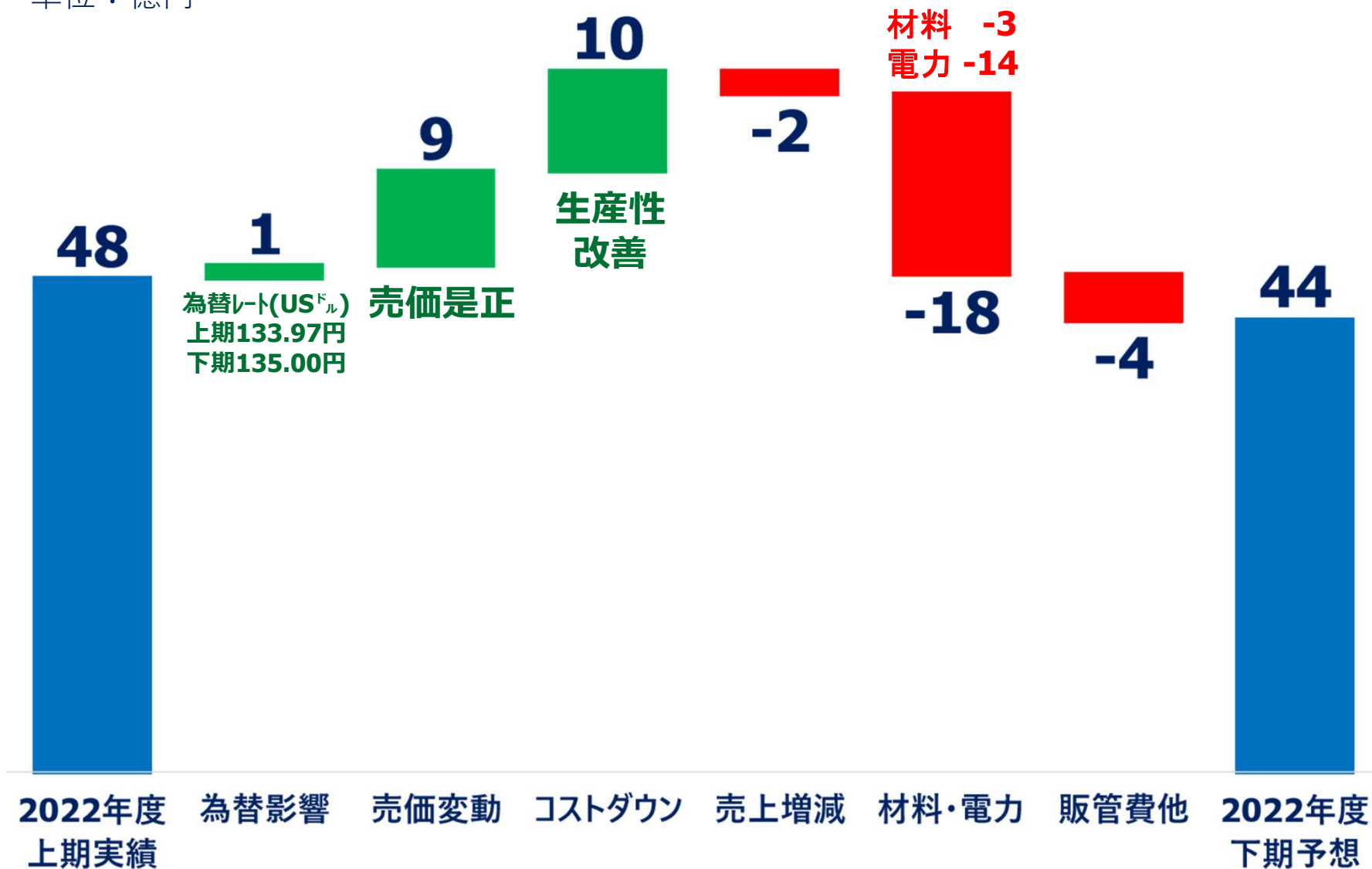


※1OEEは、Overall Equipment Effectiveness の略。（総合設備効率）

※2TEEPは、Total Effective Equipment Performance の略。（設備機器総合有効生産力）

## 5. 2022年度 下期予想 営業利益増減内容 - 前半期比 -

単位：億円



## 6. 2022年度計画達成の為の重点施策

### 1) 構造改革の完遂

		手段			
		TPM活動	SCM改革	DX推進	標準化推進
目的	①OEE/TEEP向上	↓		↓	↓
	②パーヘッド向上				
	③スタッフ生産性向上		↓	↓	
	④物流効率改善と在庫圧縮	↓			

### 2) 商品企画改革の実行

- ① 商品企画力強化（コンセプト主導、付加価値の増大化）
- ② 拡販力強化（営業・開発の連携強化）
- ③ 新規事業推進室新設（2022年4月1日）

### 3) ESG対応強化

TCFDによる提言への賛同（2022年3月）

⇒賛同表明しております TCFD 提言に沿い「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」ごとに、情報開示の充実に努めてまいります。

WEB上に、2022年6月より公開。



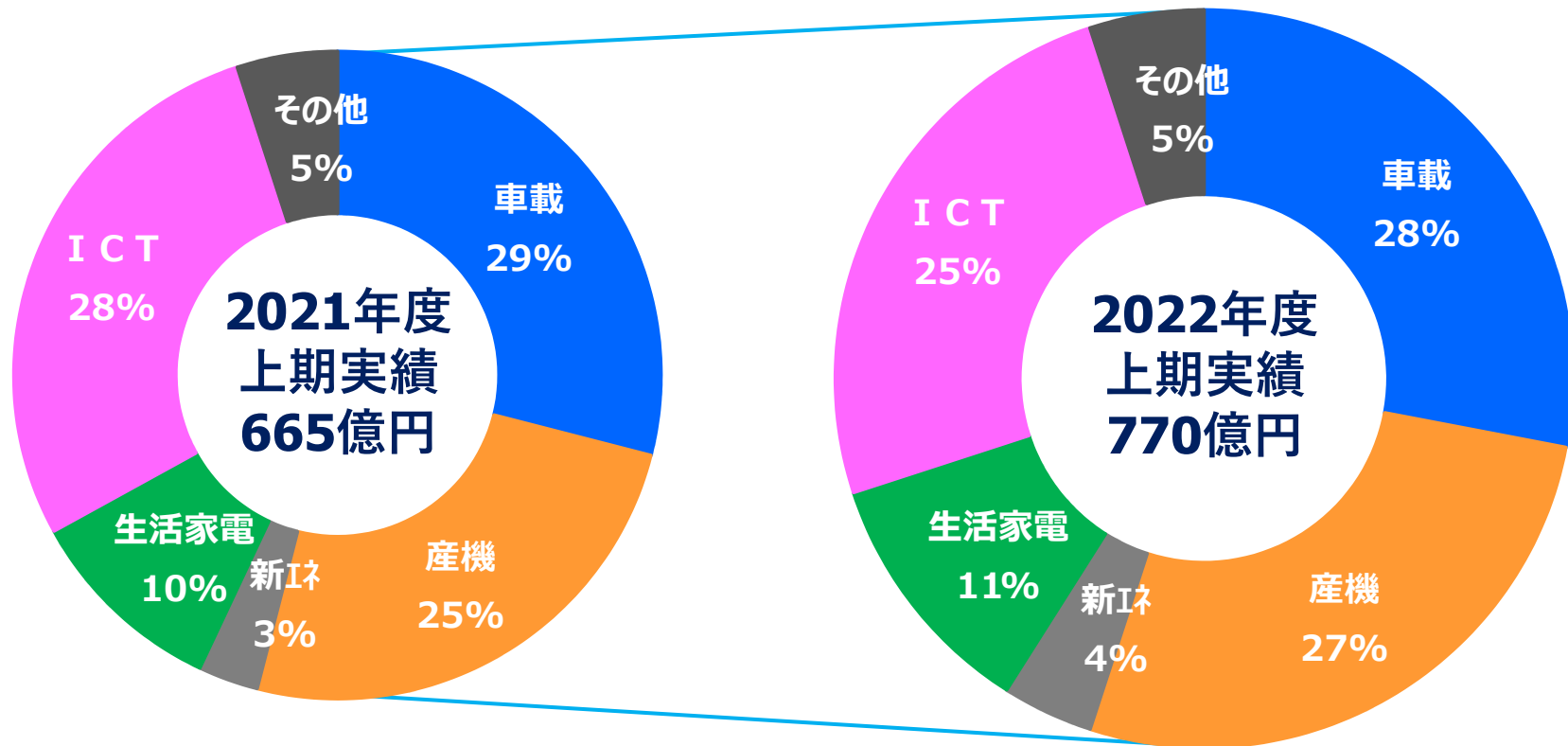
## 補足資料. 2022年度製品別売上計画

単位：百万円、%

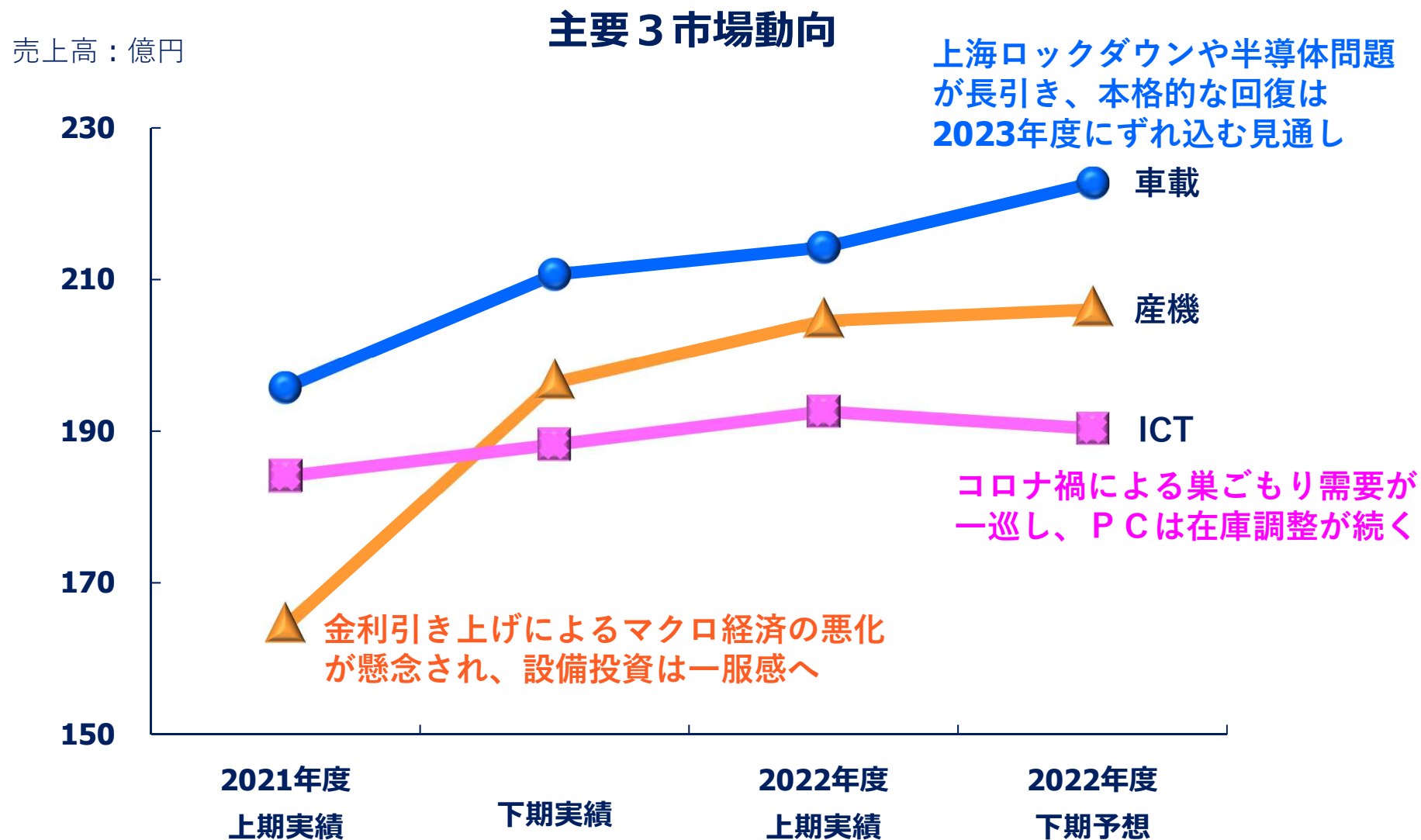
製品	2021年度	2022年度					
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	構成比 (通期予想)	増減額	増減率
アルミ電解	121,402	66,506	68,493	135,000	87.1%	+13,597	+11.2%
内 導電性	18,433	10,199	10,800	21,000	13.5%	+2,566	+13.9%
DLCAP™	3,400	2,057	1,542	3,600	2.3%	+199	+5.9%
セラコン・バリスタ	3,394	1,912	1,688	3,600	2.3%	+205	+6.1%
機構その他部品	3,189	2,118	1,381	3,500	2.3%	+310	+9.7%
コンデンサ材料	6,749	3,269	3,930	7,200	4.6%	+450	+6.7%
その他	2,179	1,178	921	2,100	1.4%	▲79	▲3.6%
合計	140,316	77,041	77,958	155,000	100.0%	+14,684	+10.5%

## 補足資料. 2021年度上期、2022年度上期 市場別売上構成比

産業機器市場が伸張  
好調な企業業績により、各社旺盛な設備投資が継続



## 補足資料. 2021年度上期～2022年度下期 主要市場動向



今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

〔注意事項〕

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、実際の業績は、今後、様々な要因により変動する場合がございます。

また、本資料に記載されている将来予想に関する事項についてその内容を更新し、公表する責任を負いませんのでご了承願います。

投資に関する最終決定につきましては、投資家の皆様ご自身の判断で行われますようお願い致します。

本資料の内容に基づいて投資された結果、万一、何らかの損害を被られましても、当社及び各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承願います。